

モデル仕様書・要件定義				
機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
基本事項	サービス提供環境	機器環境	利用者及び管理者等の操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	【利用者】 ・対応させる機器（スマートフォン、PC） ・対応OSとバージョン（iOS、Android、Windows11） 【管理者】 ・対応させる機器（PC） ・対応OSとバージョン（Windows11） ・対応ブラウザとバージョン（MS Edge、Google Chrome）
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	—
		データ管理	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・サービス提供クラウド環境（データセンター内）は日本国内にあること。
			データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・実環境でバックアップを行うことができる。 ・日次で5世代保有すること。 ・障害発生時の情報誌さんの退避先は、発注者が指定した場合を除きすべて日本国内にあること。
			サービス利用者の端末故障時や機種変更時のデータ引継ぎが配慮がされていること。	—
			個人情報の管理に関する対策を実施していること。	・プライバシーマークを取得していること。
	想定利用者数	サービス利用人数	想定されるサービス利用人数は右記の通りとする。	・約21,000人（村民の数）の利用登録を可能とすること。
		管理者機能利用人数	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	・10アカウント以上対応すること。
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、利用者およびサービスを提供する管理者双方にとって、わかりやすい操作性が確保されていること。	—
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—
		保有データの消去等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかにシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	—
	利用規約等	利用規約への同意	サービスの初回利用時やサービスに重要な変更を行った際には、利用者に利用規約の内容を提示し、確認（同意）を取ることができること。	—
		プライバシーポリシー	プライバシーポリシーを表示すること。	—

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
サービス利用者向け機能	利用者登録	利用者アカウント登録・設定	利用者情報や利用者アカウントを登録・設定できること。	—
		アカウント認証方法	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）にも対応すること。	—
		アカウント情報の修正	利用者自身がアカウント情報の修正を行えること。	—
		アカウント情報の削除	利用者自身がアカウント情報の削除申請を行えること。	—
	利用者機能	配車予約	乗降地点、乗車人数、乗車希望時間を指定した配車予約ができること。	・乗降ポイントの指定について、地図表示、お気に入り、利用履歴などから容易な指定ができること。
			予約状況・乗降地点の確認や予約のキャンセルができること。	—
			スマートフォン・パソコンからの予約ができること。	—
			予約受付方法は「即時予約」、「事前予約」方式の双方に対応すること。	—
			利用者の希望条件で予約できない場合は、希望時間近くの空き状況を案内すること。	—
			予約時にドライバーへの伝達事項を入力できること。	—
		運行状況確認	予約した車両の位置情報を確認することができること。	—
		オンライン決済機能	利用料金の支払いについて、予約時に事前支払い又は乗車時支払いを選択できること。また、事前支払いを選択した場合は、オンライン決済ができること。	—
		お知らせ受信	予約日時のリマインドや車両到着などの通知を受信できること。	—
		操作説明	利用者に操作方法を示すことができること。	—
	問い合わせ	問い合わせを行うことができること。	—	
	管理者向け機能	管理者登録	アカウント登録・設定	管理者アカウントの登録・設定ができること。
ロール設定			管理アカウントごとのロール設定ができること。	—
利用者アカウント管理		アカウント情報の確認・停止（削除）	管理者が利用者アカウント情報の確認・停止（削除）ができること。	—
運行管理者等アカウント管理		アカウント情報の登録・発行	運行管理者等アカウント（運行管理者・ドライバー）として、氏名や所属等の属性を登録しアカウントを発行できること。	—
	アカウント情報の修正・停止（削除）	運行管理者等アカウント（運行管理者・ドライバー）情報の修正、停止（削除）ができること。	—	

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
配車管理		運行計画の作成	各車両は相乗りで運行されるものとし、運行範囲内におけるAIを活用した効率的な配車、自動ルートの生成が可能であること。 また、予約の追加やキャンセルに応じ、運行計画を自動で修正することができること。	—
		運行条件の設定	運行範囲を設定することができること。	—
		運行条件の設定	道路の通行止め情報等の運行不可道路を登録し、通行止め区間の迂回時間を踏まえた配車計画が作成できること。 また特定の停留所の利用の一時停止・移動を可能とすること。	—
		乗降地点管理	乗降地点の登録/変更/削除ができること。または、利用者が指定する任意の地点を管理できること。 地点登録等においては、地図画面上や一覧表示から容易にできるよう工夫すること。	—
		配車管理	予約をもとに決定した配車データを即時に、管理システム及びドライバー用システムへ共有できること。	—
情報の提供・通知機能	お知らせ通知設定	予約日に予約内容をリマインド通知が可能であること。	—	
		車両の到着を通知することができること。	—	
		利用者へのお知らせを配信することができること。	—	
予約機能	電話による予約受付	電話で受け付けた予約内容を利用者自身ではなく管理者等によりシステムへ代理で登録することができること。	—	
		予約を連続して登録する際に入力情報を流用できること。	—	
	予約受付・確認	予約を受け付ける時間帯を各車両に設定できること。	—	
		予約状況の一覧を表示できること。	—	
	運行支援	予約キャンセルがあった場合にドライバーへ通知できること。	—	
運行計画	運行計画（ルート）	各車両の運行計画が一覧で表示できること。	—	
		運行計画は、地図画面上で運行ルートや発着地点等の表示ができること。	—	
	車両管理	登録車両の一覧を表示し、登録・変更・削除ができること。	—	
ドライバー管理	ドライバーごとの走行状況を一覧で管理できること。	—		
利用料設定等	利用料金設定	利用者の属性等により、利用料金を設定することが可能なこと。	—	
統計機能	運行実績の集計	運行実績を随時確認でき、CSV等のファイル形式でダウンロードすることができること。	—	
	—	システム・サービスの運用状況や利用状況を定期又は任意の時点で確認できること。	—	

機能分類体系			要件	詳細要件・補足説明
大項目	中項目	小項目		
ドライバー向け機能	ドライバー向けアプリ機能	運行支援	乗降場所及び運行ルートなどをナビゲーションする機能があること。	—
			各乗降地点の乗客を確認でき、乗降記録ができること。	—
			ドライバーへの通知を音声で行う機能があること。	—
			乗客の料金や支払い方法（現金・回数券・オンライン決済など）などを記録できること。	—
			事前にオンライン決済されている場合は、決済済みであることを表示できる機能を有すること。	—
		事前にオンライン決済されていない場合におけるバス車内の運賃支払い方法として、QRコード決済等のキャッシュレス決済にも対応できること。	・専用機器での対応も可とする。	
		連絡機能	運行に遅延が発生している場合に、乗車予定者に遅延を通知することができること。	—
		連絡機能	乗車予定者が予約時間に乗降地点に現れずに発車した場合、通知することができること。	—
その他	外部サービスとの連携	サービス連携	他のMaaSアプリとの連携が可能なシステムであること。	—
			専用アプリ以外に、SNSアプリ等から予約ができること。	—
		回数券・クーポン券	回数券や定期券、デジタルクーポンなどを発行し、運用することができること。	・実装にあたり、スタートアップ企業のサービス等を活用すること。なお、自社システムで機能提供できる場合は、その限りではない。